

令和6年度入学生用カリキュラムマップ

【日本語日本文学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアデザインを自ら構築する。	大学の修学の基礎となる単位制を理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の3つのポリシーに基づく専門教育の概要を把握し、自らのキャリアデザインを組み立てる力を身につける。また、良識ある社会人となるための社会人基礎力の必要性を理解し、その基盤となる十分なコミュニケーション能力を培い、基本的な社会ルールを理解し、本学学生としての誇りと自覚を身につける。さらに、学習・研究を進める上での倫理の基礎となる情報の取り扱いに関する知識を身につける。							○	◎	◎
24UJPA1002	初期演習Ⅱ（日本語日本文学）	1	大学教育の導入として、高校までの教育と大学教育の違いを理解し、自主的に学び新たな発見を導き出す力を涵養することを目的とする。本学院の教育理念に基づき、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。専門的な学習に必要な基礎的知識および社会人基礎力を身につけることを目指す。	1. 日本語日本文学科の教育目標を理解し、専門的な学習を進めるにあたって必要となる基礎的知識・技能を身につけ、また研究的態度を養う。 2. 自ら課題を設定し、その解決のために必要な情報を的確に収集し、論理的に思考して、解決へと導く技能・姿勢を身につける。 3. 学生相互や教員との豊かで円滑なコミュニケーション能力を身につける。 4. 有為な人材として社会で活躍するためのキャリア意識を形成する。							○	◎	◎
24UJPA1221	漢文入門	1	漢文の訓読法と基礎的な読解力を身につける。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	大学での学習・研究に必要な、漢文の読解力の基礎を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○	◎			○				
24UJPA1401	日本語表現入門	1	聞く人に好感を持たれる明快な口頭表現の方法を身につける。	美しく明快な日本語を話すための技能を身につけ、具体的な状況で形に表すことができる。	○		◎						
24UJPA2401	文章表現演習Ⅰ	2	レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身につける。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○		◎				○		
24UJPA2402	文章表現演習Ⅱ	2	「Ⅰ」を踏まえてさらに、レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身につける。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○		◎				○		
24UJPA2001	言語文化活動演習	2	学科の幅広い学修内容に関心を持ち、学びへの主体的な姿勢を引き出すため、日本語や日本文学、日本文化等に関して、「活動」を通じて普段の授業とは異なった「楽しむ」観点から学ぶ。	グループで協力して課題に取り組んだり、多人数の前で発表・ディスカッションなどの活動を通して、他者と力を合わせて何かをつくり上げることの意義に気づく。学科の学修内容に関心を持ち、他者に向けて学修内容を発信できるようになる。			○				◎	◎	◎

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
24UJPA1411	情報リテラシー I	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	・本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 ・基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 ・レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。		○		◎							
24UJPA1412	情報リテラシー II	1	MS-Excelを発展的に取り扱うことにより、データ処理の知識と技能を習得する。「情報リテラシー I」では十分に行えなかった、MS-Excel/Wordを連携的に取り扱うことにより、専門教育課程の課題やレポート作成とビジネス現場で適用できるデータ処理の基本的技能を習得する。	専門教育で取り扱う各種データをMS-Excelで処理し、レポート作成や卒業論文に役立つレベルを目標とする。		○		◎							
24UJPA1421	Oral Communication	1	英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	英語の基礎的な語彙や文法の知識を活用しながら、インタラクティブな活動を通して、様々な状況での基本的な実用会話ができる。		○	◎	○							
24UJPA1101	日本語学概論 I	1	日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学術的な態度を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
24UJPA1102	日本語学概論 II	1	「I」を踏まえてさらに、日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学術的な態度を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
24UJPA2101	音声・音韻論	2	音声学と音韻論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の音声学・音韻論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
24UJPA2102	語彙・意味論	2	語彙論と意味論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の語彙論・意味論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
24UJPA3101	文法論	3	文法論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の文法論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
24UJPA3102	文字・表記論	3	文字・表記論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の文字・表記論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身につけている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA4101	談話・テキスト論	4	談話研究、テキスト研究の基礎となる言語学的な捉え方を学び、日本語の談話分析や文体研究に応用するための方法を習得する。	テキストの複数の分析方法を習得し、日本語の談話・文章の研究や教育に応用することができる。	○					◎				
24UJPA3103	コーパス日本語学Ⅰ	3	コーパス（電子化された言語資料）を用いた研究方法を学び、日本語の研究に応用する。	コーパスに関する基礎知識（定義、歴史、種類、問題点）を理解し、コーパスの基本的な種類、検索方法がわかる。	○					◎				
24UJPA3104	コーパス日本語学Ⅱ	3	「Ⅰ」を踏まえてさらに、コーパス（電子化された言語資料）を用いた日本語研究の方法を学び、日本語を考究する。	コーパスを用いた先行研究を理解し、コーパスを日本語の分析に応用できる。	○					◎				
24UJPA3105	日本語史Ⅰ	3	日本語の歴史の変遷について、各時代の日本語資料に見える言語事実に基づいて考察し、日本語研究に必要な知識を身につける。また、本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の変遷を時系列に沿って把握している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA3106	日本語史Ⅱ	3	「Ⅰ」を踏まえてさらに、日本語の歴史の変遷について、各時代の日本語資料に見える言語事実に基づいて考察し、日本語研究に必要な知識を身につける。また、本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の変遷を時系列に沿って把握している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA4102	日本語学特講Ⅰ	4	日本語研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本語を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身につけている。	○					◎				
24UJPA4103	日本語学特講Ⅱ	4	「Ⅰ」を踏まえてさらに、日本語研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本語を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身につけている。	○					◎				
24UJPA1103	社会言語学	1	社会現象として捉えられた言語体系・言語運用の諸側面についての知見を得る。	社会生活における言語の仕組みと運用の仕方について一定の認識を獲得している。	◎					○				
24UJPA2103	言語学Ⅰ	2	言語学の基本的な考え方や様々な学説・理論を学び、言語の普遍的な特徴を知るとともに、日本語に関する理解を深める。	言語学に関する一定の知識や方法により、具体的な言語分析ができる。	◎					○				
24UJPA2104	言語学Ⅱ	2	「Ⅰ」を踏まえてさらに、言語学の基本的な考え方や様々な学説・理論を学び、言語の普遍的な特徴を知るとともに、日本語に関する理解を深める。	言語学に関する一定の知識や方法により、具体的な言語分析ができる。	◎					○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA1111	日本語教育学入門	1	日本語教育の本質・目的・現状・歴史に関する基礎的な知識を習得する。	日本語教育に関する基礎的な知識を獲得している。	◎				○				
24UJPA2111	日本語教授法	2	様々な母語や文化的背景を持つ学習者に対する日本語の教授法を学ぶ。	様々な日本語教授法を理解している。	◎		○						
24UJPA3111	日本語教授法実習	3	実習を通して、日本語を教える授業を組み立てるための準備、教授能力を高めるための自他の授業分析に必要な知識や理解を深め、教育実践の基礎を身につける。	国内外での日本語教育実習に向けて、準備が整っている。	○		◎						
24UJPA2112	日本語教材研究 I	2	日本語教育で使用する様々な教材についての基礎的な知識や理解を深める。	基本的な市販教材の特徴を理解し活用することができる。	○		◎						
24UJPA3112	日本語教材研究 II	3	「I」を踏まえてさらに、日本語教育で使用する様々な教材についての実践的な知識や理解を深める。	学習者に応じた教材を選択するとともに、生教材を応用的に活用できる。	○		◎						
24UJPA3113	日本語教育史	3	第二言語教授法の歴史と日本語教育の変遷を時代的・社会的背景の中で理解する。	日本語教育の変遷を時系列に沿って把握している。	◎				○				
24UJPA1112	言語発達論	1	乳幼児から児童期にかけての第一言語の習得過程について、音声・語彙・文法・言語行動など領域ごとに理解し、言語習得の仕組みを把握する。	第一言語の習得過程の概要を理解し、言語習得の機構に関する基礎的な知識を身につけている。	◎				○				
24UJPA3114	言語と心理	3	第二言語の学びの過程における学習者の心理的側面を、特に習得や学習方略などの観点から理解する。	第二言語学習における学びのプロセスを把握している。	◎				○				
24UJPA1113	異文化間コミュニケーション	1	異なる文化・言語を持つ人々が共存する社会の在り方を考えるために、異文化・異言語間で生じる多様な問題についての基礎的な知識を習得する。	異文化間コミュニケーションで生じる諸問題に対して一定の理解を獲得している。			◎			○			
24UJPA4111	多文化共生論	4	自己相対化の知的技法として、異文化を理解し、多様な文化との共生について考える。	異文化理解を鍵として、自らの文化を一層深く理解するための観点を獲得している。			◎			○			
24UJPA3115	日本語教育インターンシップ	3	日本語教育の現場の授業体験を通じて、授業準備や教室運営、評価方法等における教師の役割を理解する。	国内外での日本語教育実習に参加し、授業計画・教室運営をすることができる。			◎				○	○	
24UJPA1201	古典文学概論	1	日本古典文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学研究の様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
24UJPA1202	近代文学概論	1	日本近代文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学研究の様々な観点を知る。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本近代文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA1203	古典文学史Ⅰ	1	上代・中古を範囲として、主要な作品や作者を知るとともに、文学形態や作風や主題等の変遷を理解する。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学を時系列に沿って理解している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA1204	古典文学史Ⅱ	1	中世・近世を範囲として、主要な作品や作者を知るとともに、文学形態や作風や主題等の変遷を理解する。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学を時系列に沿って理解している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA1205	近代文学史	1	近現代を範囲として、主要な作品や作者を知るとともに、文学形態や作風や主題等の変遷を理解する。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本近代文学を時系列に沿って理解している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2201	上代文学講読Ⅰ	2	上代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2202	上代文学講読Ⅱ	2	「Ⅰ」を踏まえてさらに、上代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2203	中古文学講読Ⅰ	2	中古文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
24UJPA2204	中古文学講読Ⅱ	2	「I」を踏まえてさらに、中古文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2205	中世文学講読Ⅰ	2	中世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2206	中世文学講読Ⅱ	2	「I」を踏まえてさらに、中世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2207	近世文学講読Ⅰ	2	近世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2208	近世文学講読Ⅱ	2	「I」を踏まえてさらに、近世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2209	近代文学講読Ⅰ	2	近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA2211	近代文学講読Ⅱ	2	「I」を踏まえてさらに、近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
24UJPA3201	古典文学研究Ⅰ	3	古典文学作品の講読を通じて、その作品の特質について理解する。あわせて、古典文学研究における多様な視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA3202	古典文学研究Ⅱ	3	古典文学作品の講読を通じて、その作品の特質について理解する。あわせて、古典文学研究における多様な視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
24UJPA3203	古典文学研究Ⅲ	3	古典文学作品の講読を通じて、その作品の特質について理解する。あわせて、古典文学研究に主体的に取り組むための、多様な視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
24UJPA3204	古典文学研究Ⅳ	3	古典文学作品の講読を通じて、その作品の特質について理解する。あわせて、古典文学研究に主体的に取り組むための、多様な視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
24UJPA3205	近代文学研究Ⅰ	3	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。なお、この科目は担当者により、散文もしくは韻文を専門的に学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
24UJPA3206	近代文学研究Ⅱ	3	「Ⅰ」を踏まえてさらに、近代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。なお、この科目は担当者により、散文もしくは韻文を専門的に学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
24UJPA1206	児童文学論	1	日本の児童文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	児童文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身につけている。	◎				○				
24UJPA3207	現代文学論Ⅰ	3	日本の現代文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	現代文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身につけている。	○				◎				
24UJPA3208	現代文学論Ⅱ	3	「Ⅰ」を踏まえてさらに、日本の現代文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	現代文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身につけている。	○				◎				
24UJPA4201	日本文学特講Ⅰ	4	日本文学研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本文学を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身につけている。	○				◎				
24UJPA4202	日本文学特講Ⅱ	4	「Ⅰ」を踏まえてさらに、日本文学研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本文学を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身につけている。	○				◎				
24UJPA2221	漢文学講読Ⅰ	2	漢文学中の散文分野の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解できる。また、日本語や日本文学の学習に役立てることができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○	◎			○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA2222	漢文学講読Ⅱ	2	「I」を踏まえてさらに、漢文学中の韻文分野の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解できる。また、日本語や日本文学の学習に役立てることができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○	◎			○				
24UJPA3221	漢文学研究Ⅰ	3	漢文学（中国古典）の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。		◎			○	○			
24UJPA3222	漢文学研究Ⅱ	3	「I」を踏まえてさらに、漢文学（中国古典）の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。		◎			○	○			
24UJPA2231	国語教育実践研究	2	教育実践の場で有効な国語教育に関する知識と技術を身につける。	国語科教育に直接役立つ知識と技能を習得し、教育現場での応用力を身につけている。	◎						○	○	
24UJPA1301	阪神間の文化	1	阪神間の文化についての知見を広め、身近な文化を理解する力を身につける。	地域に根付いた文化を観察し評価する基礎的な力を身につけている。		◎			○	○	○		
24UJPA2301	文化交流史	2	国際的な文化交流の歴史を学び、日本語・日本文学・日本文化の理解を深める。	日本語・日本文学・日本文化を国際的な視点から考察することができる。		◎			○				
24UJPA2302	美術史	2	日本美術史の基本的な知識および方法論を学び、理解を深める。	日本の美術について一定の理解を得、鑑賞力を身につけている。		◎			○				
24UJPA3301	日本の芸能	3	日本の多様な芸能について学び、知識を深める。	日本の多様な芸能について一定の理解を得、鑑賞力を身につけている。		◎			○				
24UJPA3302	日本の伝統文化	3	日本の多様な伝統文化について学び、現代の生活様式への影響等を考える。	日本の多様な伝統文化について一定の理解を得ている。		◎			○				
24UJPA3303	日本の現代文化	3	現代日本の文化について様々な視点から学び、文化の多面性について理解する。	現代日本の多様な文化について一定の理解を得ている。		◎			○				
24UJPA1311	書道基礎Ⅰ	1	楷書と行書の基本的な知識・技能を身につけて表現する。また本科目は、中学校教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	書写書道の基本について、実技と知識の両面から理解し、表現することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					
24UJPA1312	書道基礎Ⅱ	1	篆書、隸書、草書、仮名の基本的な知識・技能を身につけて表現する。また本科目は、中学校教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	篆書、隸書の学習から楷書への、草書の学習から行書や仮名への理解と表現を深める。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					
24UJPA2311	書道表現Ⅰ（仮名）	2	書道基礎Ⅰ・Ⅱを基に、仮名の発展的、応用的な知識・技能を身につけて、表現力を高める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	仮名を中心とする和様古筆の多様な書法を学び、それぞれの特徴的な技法を理解し表現することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA2312	書道表現Ⅱ(楷・行・草)	2	書道基礎Ⅰ・Ⅱを基に、楷書・行書の発展的、応用的な知識・技能を身につけて、表現力を高める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	楷書と行書の多様な書法を学び、それぞれの特徴的な技法を理解し表現することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					
24UJPA3311	書道表現Ⅲ(篆・隸・篆刻)	3	書道基礎Ⅰ・Ⅱを基に、篆書・隸書の発展的、応用的な知識・技能を身につけて、表現力を高める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	篆書と隸書の多様な書法と篆刻の技法を学び、それぞれの特徴を理解して表現することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					
24UJPA3312	書道表現Ⅳ(作品研究)	3	書道基礎Ⅰ・Ⅱ、および書道表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを基に、作品制作の基礎的な知識・技能を身につけて、表現力を高める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	漢字、仮名、漢字仮名交じりの書の技法を元に、形式と効果を考へて作品を表現することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求することができる。		○		◎					
24UJPA3313	書道史	3	日中書道史の流れを理解し、各事項についての知識を深める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日中書道史に現れた様々な書体や書風について、時代背景と合わせて理解することができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		◎		○					
24UJPA3314	書の理論と鑑賞	3	日中の書論や芸術論、書の鑑賞を通じて、書や芸術への見識を深めることができる。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	書や芸術の見方や考え方を広く理解し、自らの芸術観を育むことができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		◎		○					
24UJPA1402	身体表現法	1	演劇・ダンスなどパフォーマンスの実践を通して、言葉だけに頼らないコミュニケーションの技術を身につける。	言葉だけでなく身体による表現力も発揮して、自分をアピールすることができる。				◎				○	○
24UJPA2403	プレゼンテーション入門	2	効果的な提案・説明・発表をするために必要な技能を身につける。	実践的なプレゼンテーションの技能を習得している。				◎				○	○
24UJPA3401	文芸創作	3	詩・小説・脚本・エッセイ等、フィクション性の高い文章(文芸)を書くための基本を学ぶ。	実際に文芸作品を創作することができる。		○		◎					
24UJPA2411	データサイエンス	2	データサイエンスの様々な手法を学び、実践的な分析能力を磨く。	データサイエンスのアプローチで、分析対象の特徴を明らかにすることができる。		○		◎					
24UJPA2412	テキスト解析	2	日本語で書かれたテキストや日本文学をコンピュータで扱う方法を学び、実践的な分析能力を磨く。	テキスト解析について理解し、テキストデータの特徴を明らかにするスキルを身につけている。		○		◎					
24UJPA2413	プログラミング	2	プログラミング言語の仕組みを学び、実践的な表現力を磨く。	プログラミング言語の原理を理解し、コードを記述するためのスキルと知識を身につけている。		○		◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
24UJPA2414	文学・メディアとAI	2	言語・画像・映像・音楽などの領域における生成AI・AI分析に触れ、問題意識を養い基礎的な運用能力を磨く。	言語・画像・映像・音楽などを対象にした生成AI・AI分析に関する知識を身につけている。		○		◎					
24UJPA3411	デジタル表現	3	視覚デザインをコンピュータを用いて表現する方法を学び、実践的な表現力を磨く。	コンピュータによる視覚表現の仕組みを理解し、デザインするためのスキルと知識を身につけている。		○		◎					
24UJPA3412	ウェブデザイン	3	ウェブページの仕組みを学び、実践的な表現力を磨く。	ウェブページの原理を理解し、コードを記述するためのスキルと知識を身につけている。		○		◎					
24UJPA3413	コンテンツ制作Ⅰ	3	映像コンテンツを表現するための制作手法を学び、問題意識を養う。	映像表現の特徴を理解し、コンテンツを作るためのスキルと知識を身につけている。		○		◎					
24UJPA3414	コンテンツ制作Ⅱ	3	映像コンテンツの制作手法を組み合わせたながら、実践的な表現力を磨く。	映像表現の特徴を活かし、コンテンツを通して自由に表現するためのスキルと知識を身につけている。		○		◎					
24UJPA1422	中国語概説	1	日本語と深いかかわりのある中国語の音声・文字・語彙・文法・言語運用（平易な会話も含む）等についての基本的な知識を得るとともに、それを日本語学の学習に役立てる。	中国語に関する一定の知識を得て、日本語を中国語との対照において眺める視点を獲得している。		○		◎					
24UJPA1423	韓国語概説	1	日本語と深いかかわりのある韓国語の音声・文字・語彙・文法・言語運用（平易な会話も含む）等についての基本的な知識を得るとともに、それを日本語学の学習に役立てる。	韓国語に関する一定の知識を得て、日本語を韓国語との対照において眺める視点を獲得している。		○		◎					
24UJPA2421	英語で読む日本Ⅰ	2	日本の文化・文学に関する英語の文章を読み、英文読解力を養うとともに、国際的な視野から日本を捉え直す。	一定程度の英文の読解力を身につけ、日本の文化・文学を国際的・相対的に捉えることができる。		○		◎					
24UJPA2422	英語で読む日本Ⅱ	2	「Ⅰ」を踏まえてさらに、日本の文化・文学に関する英語の文章を読み、英文読解力を養うとともに、国際的な視野から日本を捉え直す。	一定程度の英文の読解力を身につけ、日本の文化・文学を国際的・相対的に捉えることができる。		○		◎					
24UJPA1424	海外文化体験演習	1	海外体験を通して、日本語・日本文化に対する客観的な評価ができるような基礎的な力を身につける。	多文化共生を理解し、日本語・日本文化に対する客観的な評価の視点を身につけている。			◎				○	○	
24UJPA3001	演習Ⅰ	3	演習担当教員の指導の下、各自の研究を深めるための方法論を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高め合う。自分の発見した問題を、他者と力を合わせながら、主体的・積極的に解決する経験を積み重ねる。	卒業論文（卒業制作）作成に向け、研究に必要な基本的な知識と技能を身につけている。				○		○	◎	○	○
24UJPA4001	演習Ⅱ	4	Ⅰに引き続き、演習担当教員の指導の下、各自の研究を深めるための方法論を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高め合う。自分の発見した問題を、他者と力を合わせながら、主体的・積極的に解決する経験を積み重ねる。	卒業論文（卒業制作）作成に向け、研究に必要な発展的な知識と技能を身につけている。				○		○	◎	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目							
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性	
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJPA4002	卒業論文（卒業制作）	4	これまでの学修により得られた知識や方法のすべてを投入して論文・研究・制作に取り組む。	卒業論文（卒業制作）を完成する。			○		○	◎	○	○